

ぶな

2023年7月号

NO. 532



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

巻頭言

K 林 T 子

「心理的安全性」という言葉を最近知りました。対人関係のリスクにおびえず、誰もが自由に発言できること、ただ、仲がいいとか、何を言っても許されることとは違い、個性の違う一人ひとりが、同じ組織のゴールを共有していることを意味するのだそうです。

3月21日午前のスイミングプールはいつになく人が少なめでした。WBC準決勝、侍ジャパンがメキシコと戦っていた時間だったんです。後から聞いたところ「普段は野球に興味がないのにテレビから離れることができなかった」という人が何人もいました。不振だった村上選手がサヨナラ打を放って劇的勝利を収めたあの試合です。「侍ジャパン」の視聴率はこの日だけではなく7戦すべてにおいて40%を超えていたそうです。

栗山監督率いる「侍ジャパン」は心理的安全性の高いチームであったと後日ヘッドコーチ白井一幸さんは書いていました。栗山監督は信じて任せて任せきることができる人、相手を信頼するから関係性ができ、信頼関係が築けるから心理的安全性の高い組織となれたのだと。多くの人を歓喜の渦に巻き込んだチームの魅力はこんなところにもあったのかもしれない。

栗山監督は6月2日に退任。お疲れさまと思いつつ朝の連ドラ再々放送の「あまちゃん」を観ていた私は、北三陸鉄道の存続と袖ヶ浜という小さな町の発展を願う人たちがあれやこれや喧々諤々言いたい放題の場面でふと思いました。(ドラマですが)ここもまた心理的安全性という点においてなかなか高得点なのではないかと。

「あまちゃん」を観たことのない人にはさっぱりわからないぶっ飛んだ話ですみません、歴史的快挙とドラマを一緒に並べたのもどうかと思います。ただ、難しげで崇高に思える「心理的安全性」という関係性は案外近くにも存在すると思えたのです。一番身近なチームは家族でしょうか、我が家は高得点とはいきませんが、それなりに合格点くらいにはなるかと思えます(夫の意見は聞いてませんが)。皆さんはどうですか？みなさんの周りに栗山監督はいますか？みなさんが栗山監督？ここで突然「結」になりますが、比良雪稜会は素敵なチームだなあとと思います。

目 次

	ページ
1 巻 頭 言	1
2 目 次	2
3 【例会案内】	
比叡山&祇園祭	3
お知らせ	4
4 【例会山行報告】	
クリーンハイク①コース「坂下～小女郎池～打見山」	5
クリーンハイク②コース「栗原～ホッケ山～打見山」	8
交野山・国見山	9
柳生街道・笠置～柳生～笠置	11
5 【講習会参加感想】	
初級読図コースに参加して	13
6 【会議報告】	
夏原グラント	14
第4回運営委員会	16
6月リーダ部会	19
7月の予定表	21

表紙写真：ゴミ軽量風景
撮影者：K藤F男
日時：2023.06.04

<例会案内>

比叡山&祇園祭

この例会は、昨年雨天中止となった企画を再開するもので、JR坂本駅から大比叡（848）に登り雲母坂を下って修学院に下山して、叡電と京阪で三条まで出て、祇園祭の宵山（前祭）を楽しむ電車山行となります。

宵山については、お囃子が始まる夕刻は大変混雑しますので、その前に山鉾（23基）が立ち並ぶ山鉾町界限を散策して山鉾を見学します。

宵山散策後、四条駅にて解散し、今回は三条のアサヒに流れます。

日 時：7月14日（金）

集 合：JR比叡山坂本駅 8時40分

行 程：JR坂本9：00～山頂11：30～つつじヶ丘12：00（昼）～
きらら坂～叡電修学院14：30～三条京阪→地下鉄御池～山鉾町
を散策～四条駅17：30解散＝三条（アサヒ）18時～

難易度：体力★★☆☆☆ 技術★☆☆☆☆

装 備：水・弁当・日帰り装備、ICOCA

担 当：K原

締切り：7月11日（火）

中 止：雨天の場合は中止にします。
この場合は前日の10時
に連絡します。



【おしらせ】

機関紙“ぶな”が再び印刷物で配布されます

コロナ感染防止の観点から機関紙「ぶな」は電子データで会員に配布してきましたが、4月の運営委員会で7月号より従来に戻し、印刷物で配布することになりました。是非ご愛読ください

各月 班編集 CL の皆様へ

今後各編集班は印刷・製本・封入・宛名貼りなど多くの作業が発生し、班員の作業参加が必須となります。編集作業日を早めにグループ員に連絡し、多くの班員が参加していただけるよう配慮してください

.....



ココヘリ会員の方へ、登山届について



皆さんも既にご存知かと思いますが、先日ココヘリより「登山届をココヘリに届けていない場合は、検索ヘリの費用は自己負担になります」との知らせが届きました。

当会では、普段の山行時の登山届は会のみ提出していて、警察にも出していない事が多いと思います。万が一検索が必要になった場合、会から警察へ提出する事になっています。そこで、ココヘリに確認したところ「紙面で作成した計画書をご家族に残してください」との指示がありました。

せっかく会費を払って入っているのに、自己負担にならないようご注意ください。

以下、ココヘリからの回答をです。

ココヘリへ登山届をご提出頂く場合は下記の4通りの中よりご選択頂いております

- ①紙面で作成した計画書をご家族に残していただき、万が一の際はその内容をココヘリへお電話でお伝えいただく。
- ②登山計画サイト『コンパス』で登山計画をご提出いただく
- ③ヤマレコ、ヤママップで作成した登山計画の URL を、ココヘリの登山計画へ貼り付けて共有する
- ④ココヘリ専用の登山計画を作成する

以上(K 藤)

<例会報告>

6月4日(日) 第51回 クリーンハイク(清掃登山)

南比良①コース 下坂下～小女郎ヶ池～打見山

天気：晴れ

[参加者]

N村 T(CL)、N尾(SL)、T中 T K林 Y崎 H部 F(SL) H島(SL) H部 M
T中 K H浦 K藤 山友会2名 一般10名 計23名

[行程]

堅田駅=(バス)=下坂下(開会式)～坂下～(サカ谷道)～小女郎ヶ池(昼食)～蓬莱山～
打見山(②コースと合流)=(ロープウェイ)=山麓駅(集会兼閉会式)

堅田駅8時集合。受付配布済ませ8時50分発のバスに乗車。

雨上がり快晴で、日曜日なので当会以外の登山客も多く超満員であった。

9時30分下坂下バス停車。少し歩いたところで開会式。

主催者を代表して、T中利理事が「年々ゴミの量は減ってきている。年に1度の清掃活動であるが、いつまでも山を綺麗にしたいと言う美意識を付けましょう！」と挨拶。会長よりコース説明と注意事項あり。「沢沿は狭いので滑りやすく慎重に歩く事。2日前の大雨で、かなり水量が多く4日前に飛石を置いたが流されているかもしれない。竹も準備しているので十分注意して沢を渡ることを心掛けてください。暑くなりそうなので各自水分補給をして、緑と自然を楽しみながら清掃活動しましょう！」(会長が下見して、飛び石補完と竹竿を準備)

その後N尾氏リードにより準備体操の後、9時53分出発。

ゴミ拾いしながら坂下集落へ進み、登山口より山に入る。

沢沿いは大量の水でマイナスイオンたっぷり、とても気持ち良いものの、足元に気を付けながら慎重に登る。

N尾・H島の両s1が両岸で竹竿を支える補助のお陰で、流れの早い沢を飛び石を使い注意して渡る事ができた。

湿気の多い植林帯を歩く。10時35分休憩。ヒルがあちこち湿気の多い土壌にいた。ハンゲショウや朴葉を横目に見ながらサカ谷道を登る。

11時23分休憩。花のフタリシズカを教えてもらう。12時05分サカ谷道レスキューポイントで休憩。道中ベニドウダンが可愛い花を付けて待っていてくれた。

もう少し歩くと視界が広くなり開けそうだ。

13時 小女郎ヶ池に到着。周辺のゴミ拾いと昼食。13時40分集合写真を撮り 出発。
小女郎峠にやってきた。遂に琵琶湖の景色がほの見える。

14時10分蓬莱山到着。14時20分2班到着。
脚が攣って遅れがちとなった一般参加者は会員が付き添い、リフトで打見山へ向かう。
14時45分打見山に到着し②コース組と合流。両コース全員で集合写真の後、ロープ
ウェイで山麓駅へと下る。15時10分山麓駅到着後、ゴミの分別と計量を行う。

15時25分 閉会式 [当①コースの回収ゴミ量をT中理事が報告]

可燃ゴミ 0.9kg 缶 0.2kg ビン 0.9kg ペットボトル 0.1kg 合計 2.1kg

S水さんが全国連盟自然保護委員会のアピール文「全国一斉清掃登山」を読み上げ、拍手で採択となる。

会長より「全国より一歩進んでいる滋賀の長年の取り組みは誇らしく、これからも山を愛していきましょう！」

副会長より閉会挨拶「びわ湖バレイさん及び江若交通さんの協力、平和堂財団夏原グラントの助成協力をいただき、本年の清掃登山を無事終える事ができました。」

拍手、解散。

[まとめ]

今年は早めの梅雨入り、2日前の大雨で開催が危ぶまれたが、当日は晴れて予定通り第51回清掃登山を無事終える事ができました。ゴミは年々減少傾向で、登山客のマナーが向上してきている。コロナ禍後、登山活動が盛んになってきている。蓬莱山から見えた Mother Lake 琵琶湖の美しさを目に焼き付け、湖国の豊かな自然保護活動を次の世代に引き継ぎたいものである。

記録 Y 崎





《第 51 回清掃登山》 ②コース 権現山・蓬莱山・打見山

参加者 CL K嶋 SL H池(記録) SL K藤 SL I村 SL K原 SL A本 F川 N
村 S水 Y口Y 一般参加 19名 山友会 1名 合計 30名

コース 和邇駅=霊仙登山口 9:50~権現山 11:30<昼食>~12:00~蓬莱山 13:45~打
見山 14:20~15:05=ロープウェー山麓駅 15:10

和邇駅から、登り口まで会員の乗用車 2 台と 7 人(乗客 6 人) 乗りタクシー 1 台が、
2 往復ずつして、全員が移動するという段取り。駅集合は 9:00 となっていたが車の
ピストンがスムーズにいくように早く来られた方から、車に乗ってもらった。

登山口に全員そろったのが 9:30、挨拶とストレッチをし、3 班に分かれて出発した。
スゴノバンまでは、単調な林道、そこから権現山までは急登。ゴミは少なかった。

権現山山頂では、たくさんのグループが眼下の琵琶湖や美しい風景を楽しんでおら
れ、賑わっていた。昼食を取った後、権現山まで気持ちの良い縦走路だった。ゴミはほ
んど見つけられなかったが、例年参加してくださっている方は、登山道の左右まで
よく見てゴミを拾われるのに感心した。行き違う人たちが私たちのゴミ袋を見て「あ
りがとうございます。」と声掛けしてくださることが多く、嬉しく思うとともに啓発に
なっているのかなと思った。

蓬莱山山頂からは観光客で華やかな雰囲気だった。ゴミは登山者のものではなく、
びわ湖バレーが保全のために使ったようなビニルテープや鉄の棒などがあった。

全員元気にロープウェー山頂駅に到着した。①コースのメンバーと合流し、ロープ
ウェーで下山し、ゴミの計量をした。

可燃ゴミ 3,5 kg 不燃ゴミ 5,0kg ビン 3,0kg ペットボトル 0,2kg

合計 11,7kg





(例会報告)

交野山・国見山

日 時 : 2023年5月21日(日)晴れ

参加者 : K原 CL.H島 SL.K藤 CL. H浦.T中.A本.N尾.S水.K嶋.I井.K林.Y崎

行 程 : 集合近鉄京都駅(8:10)~天理行急行(8:25)→8:50 新田辺(徒歩)→JR 京田辺(9:10)→松井山手駅(乗換) JR 津田駅(9:31)→津田駅前出発(9:35)~国見山(10:35)~アンテナ山(11時)~サンドイッチ山(11:10)~白旗池畔(昼食)12:05 交野ふれあいの里見学~交野山(12:25)~旗降山(13:15)~竜王山(13:40)~かいかげ道~住吉神社(14:20)~河内磐船駅(15:00)→京都駅(16:10)解散

絶景の交野山、国見山、アンテナ山、サンドイッチ山、旗振山、竜王山へと電車で縦走に行ってきました。総じて、交野山頂上の観音岩から大阪平野が一望でき、スケール感のある山でした。低山とは言え急登が多く、皆さんと一緒だから登れたハイキングでした。下山は「かいかげの道」を歩き歴史と信仰の山を体感する事ができました。

津田駅から登山口まで20分、5月下旬でもあり森の中の日陰は爽やかな風が通り心地よかったです。10時25分展望デッキで休憩。枚方大山崎の向こうには比叡山も見えました。次は国見山に向かいます。まだかまだかと急登を歩いて行くと、山頂では鯉のぼりが風に揺られてお出迎えしてくれました。この国見山には500年前に城があったそうです。遠くには比叡山も霞んで見えました。次はアンテナ山へ、またまた急登で汗を流しアンテナ山(11時)に着いて休憩。次はサンドイッチ山に「なぜサンドイッチ山って名前なの？」それは標高313mなので「3と3の間に1が入っている」からサンドイッチ山」だそうです。山水のせせらぎ、元気な鳥達の鳴きを聞き、ササユリのつぼみやキショウブがある小さな沢を過ぎてトンネルを抜けると白旗池に到着。池の畔のベンチで昼食をとりました。(11:35)「いきものふれあいの里」で野鳥の展示を見学(12:05)し、交野山へと向かいました。山道では家族連れや清掃ボランティアの方々が登っており人気の山のような様子でした。もう少し！もう少しと一步一步登り詰めて行くと見えてきた巨岩、「観音岩」です。やっと山頂です(323m)。(12:25)「わっ！大きい！」圧倒的な迫力と存在感。これまでの疲れも一気に吹き飛びました。

観音岩の上からは大阪平野アベノハルカス天王山・京都愛宕山・生駒山地 360度の壮大な大パノラマを見る事ができました。

山頂でお弁当を食べる女子たちに写真を撮って頂きました。12:35山頂出発。赤鳥居とゴツゴツした木の階段を下りました。(13時)駐車場で水分補給。次は旗振山へと向かう。(13:15)旗振山山頂(341m)、(13:18)巨岩を見ながら竹林を通り(13:40)竜王山山頂(321m)到着。竜王山山頂には竜王岩や山伏が修行したと言われる岩屋も残されていました。13時50分麓の住吉神社に向かう。麓までは「かいかげの道」に行く。この道は大和河内を結ぶ重要な熊野街道、交通路として、奈良の大仏が建立される時は仏師達が行き来したと伝えられているそうです。「かいかげ地蔵」(14時)に立ち寄る。室町時代に造立された地蔵で歯痛地蔵とも呼ばれて、願掛けもあつたらしい。また、ここはかつて茶処もあり、昔の歴史を忍べる感慨深い旅人達の休憩所跡地となっています。さらに、この道筋には長岡天神柳谷観音、京都愛宕山大権現、八幡市石清水八幡宮の伏拝がありました。14:20麓の住吉神社かいかげ道入口に到着した。休憩後、静かな寺地区を通り 14:45 河内磐船駅に到着しました。15:00 発に乗車し京田辺から近鉄京都駅(16:10)に戻り解散となる。その後打ち上げに参加し楽しい時間を過ごす。

4座縦走して、絶景あり歴史あり、暑いけれど大変充実したハイキングでした。お疲れ様でした。(記)Y崎



交野山山頂「観音岩」

〈例会山行報告〉

柳生街道・笠置～柳生～笠置

【日 時】 2023年5月28日(日)

【天 候】 晴時々曇り

【参加者】 CL(救急)I井、SLH島、SLK藤、K藤、Y崎、K林、(写真)K原、
O村T、(記録)H部F、H部M

【行 程】 「往」京都 8:16=9:03 木津 9:28=9:34 加茂 9:40=9:47 笠置
「復」笠置 15:27=加茂=木津=京都 16:51

今日は13名の参加申し込みでしたが3名が体調不良で10名で出発、心配された天候も晴れ時々曇とまざまざの中、京都駅8:16発奈良行きに乗車。

木津、加茂で乗り換え加茂からはワンマンのディデルカーと変化に富んだ、木津川沿いの遠足気分も味わいながら10時前笠置駅着です。

【9:55】昔懐かしい「昭和レトロ」な看板と風情の残るメインストリートを辿りながら笠置大橋、木津川へ向かう。ゴロゴロ巨岩の転がる木津川沿いの道では地元の清掃ボランティア活動の方々に『ごくろうさまです』と声かけして通らせてもらう。

【10:30】布目川発電所からは布目川沿いに、岩の川底に水に削られ無数に大小の穴があいた「甌穴群」に立ち寄りたりしながらゆるい登りで上流へ。

【11:25】布目川発電所取水口で休憩後奈良県側に入る、柳生窯の先で山手に入り「剣塚(古城山)」で【12:10～12:45】の昼休憩をとる。

周遊コースに戻り【13:10】柳生十兵衛が植えたとされる「十兵衛杉」に立ち寄る。大きく枝を広げた初代の杉は残念ながら落雷により枯れ二代目に引き継がれていた。収穫の終わった茶畑を見ながら【13:35】京都府との県境近くの「阿対(あたや)の石仏」に到着、流行り病にご利益のある阿弥陀様とお豆腐を供えると子宝に恵まれるといわれる地藏菩薩様が並んでおられた。

【14:10～50】笠置寺にお参りする。境内は 800m の周遊コースになっていて 15m の巨石の弥勒磨崖仏、胎内くぐり、二の丸跡など変化と高低差があり参拝料@300 は大変値打ちがありました。チャンスがあれば紅葉の頃にもう一度訪れてみたいです。

【15:10】笠置駅着、ここで柳生・笠置周遊コースの前半の部を終了解散しました。一名は朝とコースを変え三重県「柘植」経由の草津線で帰宅です。(H部F記)



打ち上げ



十兵衛杉付近

《感想》

初級読図コースに参加して

S田H枝

日時：2023.04.23

場所：音羽山

「山登り」を楽しむために目指すことの必須条件とは。余り深く考えたことも無く、リーダーさんの計画に 行きたい山に 行きたいときについていだけ。無事に帰れたらそれでオーケー。で今までは楽しんでいました。

しかし地図読みがなぜに必要なのか その大切さを学ぶ第一歩となりました。楽しいはずの山登りも自然や人的リスクと隣合わせ 身を守るためには必須の技術と知識と改めて意識する良い機会でした。

実際に 音羽山に登りながら 地図を見ながらコンパスの使い方を指導して頂き 現在地の確認 進行方向の確認 山座同定等 また尾根歩き コル(初めて聞きました)等 ひたすら何も考えずにただ歩いていた時とは違い 地図上での読み方を 少し意識しました。

これからは事前に山の情報を得る事 機会があればコンパスを使う等 安全に楽しむことを意識しながら 山登りを楽しみたいと思いました。

【 報告 】

夏原グラント市民環境講座の報告

N野T光

夏原グラント市民環境講座の第1回「多様な生き物に生かされている私たちの責任」と題して、令和5年6月17日（土）に草津市立市民交流プラザで滋賀県立大学名誉教授の仁連孝昭先生の講演があり、参加したので報告致します。

生物多様性について考えた場合、次の6項目が考えられる。

1) 生態系サービス

- ・直接的なものとして供給サービス。食料、水、原材料、遺伝資源、薬用資源など。
- ・間接的なものとして調整サービス。気候調整、水量調整、水質浄化、局所災害の緩和、土壌浸食の抑制など。
- ・生物が生きられる場の提供として生息、生息地サービス。花粉媒介、種子の散布や病害虫のコントロール、遺伝的多様性の維持など。
- ・直接的なものとして文化的サービス。文化、美術、デザインへのインスピレーション。レクリエーションや観光の場と機械。科学や教育に関する知識。

2) システムとしての生き物の世界

- ・生物は代謝によりその生命を維持している。生命と生命の間の物質とエネルギーの交換を支える複雑なエコシステムを作り出している。エコシステムを抜きにして生命は生存できない。炭素の循環でエコシステムを見た場合、大気中の炭素 3,000 PgC の約半分の 1,500PgC が土壌中の炭素として存在している。

3) 人間の行為による生物多様性の危機

- ・第1の危機：開発など人間活動による危機。1960年代と2000年代を比較すると、自然林が減少（里山の減少）、人工林の増加、原野・草原の減少（60%減少）、農地の減少、宅地の増加。
- ・第2の危機：自然に対する働きかけの縮小による危機。里地・里山の森林生態系や農地生態系の利用・管理の縮小⇒生態系の規模や質の低下を引き起こす。
- ・第3の危機：人間により持ち込まれたものによる危機。外来種や化学物質⇒生態系の質の低下、生息・生育する種の個体数や分布の減少を引き起こす。
- ・第4の危機：地球環境の変化による危機。気候変動は生態系の変質、種の個体数の減少や分布の縮小を引き起こす要因となる。

4) 生き物の世界を修復する生態系への働きかけ

・生物多様性国家戦略 2023-2030：2030年ミッション「2030年ネイチャーポジティブ」

ネイチャーポジティブ（自然再興）とは、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。

基本戦略1：生態系の健全性の回復

基本戦略2：自然を活用した社会課題の解決

- ①自然を活用した地域づくり
- ②自然を活用した課題の統合的解決
- ③鳥獣の管理と棲み分けと有効利用

基本戦略3：ネイチャーポジティブ経済の実現

基本戦略4：生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動

(一人一人の行動変容)

基本戦略5：生物多様性に係る取り組みを支える基盤整備と国際連携の推進

5) 原生自然と自然保護

- ・原生自然：自然を特定の状態に導くことでなく、システムとしての多様性・相互依存・弾力性を強くすること。
- ・自然保護：奥山だけに残されている。

6) 環境再生と適応的管理

- ・原生自然という幻想⇒モデルのない適応的管理
- ・生命の網の目の中で生きる生命⇒生態系と共存する社会
- ・里山、里地の人口減少⇒環境再生の新たな担い手

【まとめ】

生物多様性について考えると、国家戦略として考えて取り組まないといけない事が分かる。人間一人一人の行動変容が重要になっており、人間の行為が原因で生物多様性は危機的状態に陥っている。

今後、生物多様性に係る取り組みを支える基盤を整備し、世界レベルで国際連携を推進して行く事が重要と考えられる。

2023年度第4回 運営委員会報告書

出席：N村、A本、N野、K林（記録）、K藤、F川、N村、T中T、F野、H野

欠席：I東 K嶋

場所：比良雪稜会事務所

日時 6月13日〈火〉19時半～20時55分

1. 清掃登山の報告（6/4(日)開催）

1) 参加者 53名

①コース： 会員11名、他会2名、一般10名、合計23名

②コース： 会員10名、他会1名、一般19名、合計30名

2) ゴミ回収量：総重量 13.8 kg （表の単位・kg）

コース	可燃	不燃	カン	ビン	ペットボトル	合計
①	0.9	0.0	0.2	0.9	0.1	2.1
②	3.5	5.0	0.0	3.0	0.2	11.7

3) 参加状況報告等 ①コース

N村会長が事前にサカ谷の渡渉箇所に3.3mの青竹1本を配備、青竹を手すりのようにして補助することで安全に渡渉ができた。

一般参加の女性一名に足の痙攣あり、ペースダウンや休憩等で対応したが蓬莱山山頂から先はH部Mさんがサポートにつきリフト移動とした。

全員が集まったの写真撮影後、各自にゴンドラチケットを配布するも一名に（特定できず）渡せないまま予定のゴンドラに乗車、その後連絡がついて次のゴンドラに乗車となった。解散までは気を抜かず班毎の人数確認をすることが必須。

参加状況報告等 ②コース

駅から登山口へは個人タクシー（6名乗り）とI村氏・K原氏の車で各車両二度往復。昨年のように全員が集まってからではなく、来た人から順に送ることとトラブルなくスムーズに全員登山口に到着できた。

歩き方が不安定で休みがちな一般参加の女性一名あり、その人のペースに合わせ、ゆっくりと休憩多めに取ることで、最後まで全員で歩くことができた。

I村氏とK原氏にはゴンドラ下車後に車のピックアップに向かってもらった配車場所へ移動するためのタクシーも待ち時間なく到着してよかった。

その他 別の登山コースの開拓も検討していきたい。

参加者には受付の段階で、ある程度の体力準備を呼びかけていく。

2. 「ハイキングレスキュー講習会」に関して

6/11（日）の京都府連の救助隊の勉強会には比良雪稜会から参加しないことを M 内理事長に連絡。11/12（日）に実施予定の「ハイキングレスキュー講習会」にはスタッフとして比良雪稜会から 2 名（K 藤氏と N 村 Y 氏）参加予定。当日は例会予定を入れず、会員の講習会参加を呼び掛ける。

3. 各担当より

リーダー部・遭難対策・技術アップ・会計・HP・事務局：特になし

自然保護：6月17日・18日 全国自然保護会議に K 藤氏参加、風力発電について県連から託された原稿を発表予定（全国連と県連から参加費の補助あり）

機関紙：7月号より紙版の会報作り再開（26日予定）

山行記録の送り先等の確認事項について、ぶな7月号で別報告あり
（必読）

労山基金：新入会 N 村 H 子さんの労山基金手続き終了

4. 県連報告

1) 第 4 回 ZOOM 理事会が 5/17（水）にリモート会議で実施された。

議題 1. 清掃登山進捗状況

・清掃登山チラシ 1,300 枚 各会・自治体・協力企業等に郵送。HP にアップ済。

・県連担当理事の確認

・チラシ 300 部、リーダーの手引き 60 部印刷 各会へ郵送 5/11。

・県連ニュース 7 月号に掲載、原稿 6/15 締切

・写真、ゴミ量の報告。6/7 締切で M 内理事長まで。

・一般参加（大人・子供保険代 100 円徴収）の短期掛け捨てプランを申請
6/3,4 実施日は 6/1 締切 氏名・男女・年齢が必要 M 内理事長まで提出
徴収した保険代を各会場県連担当者が受け取り、後日人数と預り金を報告

議題 2. 2023 年版勧誘チラシ

・800 枚完成し、HP にアップ済。清掃登山のチラシに同封して自治体に郵送済。

議題 3. 初級登山教室

・クライミング実技 1 4/16 に実施済。

・クライミング実技 2 4/23 に実施済。実技 1,2 共に HP アップし、県連ニュース 6 月号に掲載。

・5/10 に座学 5/14 は読図実技 皇子が丘公園から千石岩で実施済。

5/21 に実技 読図は高島・見張山・三尾山周回コースの予定。

議題 4. 初級読図コース

・第 1 回は 4/23 に実施。報告は県連ニュース 6 月号に掲載。

・第 2 回は 6/25 に逢坂山を予定。

議題 5. 各部からの報告

・機関誌部 県連ニュース 7 月号（6/15 原稿締切）

リレーエッセイ・写真はオフトレイルが担当。

- 自然保護部 全国自然保護担当者会議に比良雪稜会の近藤氏が参加。各労山から会議で活動報告等をするよう要請されている。滋賀県域山地で問題になっている
 - ① 余呉・南越前ウインドファーム事業
 - ② 三十三間山風力発電事業
 - ③ 美浜新庄
 風力発電事業 以上の動向を報告してもらいたい旨を T 中 T 彦理事から K 藤氏に依頼。
- 組織部 交流山行 3 回雨天中止 4/22 オフトレイル「六甲」実施
5/21 岳友会「三十三間山」、5/28 山友会「御池岳を予定」
- 教育遭対部 ハイキングレスキュー講習会を 11/12（日）に実施決定。
6/11（日）の京都府連救助隊の勉強会に参加予定。山友会 4 名。
会場を「千石岩」に変更。駐車場が広く、講習会場も近いという利点。
4/2 のテキストをたたき台として内容を詰め、事前打ち合わせ練習会を実施する。県連から各会へ原稿を渡して掲載を依頼する。基本はハイキング対象の講習会。

議題 6. その他

- T 中 M 行理事から講習会企画についての連絡。
講師・K 岡 H（兵庫県連・神戸クライマーズクラブ所属）に依頼予定。日程は未定。T 中 M 行理事は調整して進める。
- 全国連盟の会議予定等の連絡事項
全国自然保護担当者会議 6/17（土）～18（日）埼玉県秩父郡「長瀬壮」
比良雪稜会から K 藤氏が参加。交通費は全国連盟が負担し、宿泊費を県連が半額補助予定。

2) 第 5 回 ZOOM 理事会は 6/7（水）にリモート会議で実施された。
内容に関しては次号にて詳細報告

5. その他

- 交通費は 35 円/km です。
- 県連主催の読図講習会に当会より S 田氏が参加、県連ニュースに報告記事が掲載されたが、会報に再度掲載をお願いします。
- ココヘリ会員で遭難した場合、ココヘリに登山届を提出していないとヘリコプターによる救助要請費用が全額自己負担になることがあります。ココヘリに登山届を提出する方法に関しては、ぶな 7 月号の近藤氏の「ココヘリ会員の方へ登山届について」を参照して下さい。
- 会員動向；現会員数 42 名。N 村 H 子様が 6/1 より入会。

次回 第 5 回運営委員会は 2023 年 7/11（火）です。

《第3回リーダー一部会議事録》

日 時 6月20日(火)

場 所 比良雪稜会事務所

出席者 H野・H島・N村 T・H部・N尾・K藤・N野

議題1 例会実施状況（ヒヤリハット）

- ・鈴鹿縦走(水沢峠～武平峠)：ザックのポケットに入れていた水筒が落下。下に登山者がいたら事故の原因になり得るので、要注意。
- ・春の野点（八ヶ峰）：1名靴底剥離あり（テープ、結束バンド等で補修）。途中1名足の攣り。
- ・八経ヶ岳、行者還岳：予定外のコースを下山したが、標識もあり特に問題はなかった。
- ・鈴鹿縦走（武平峠～根ノ平峠）：中止(5/14)→6/11に順延(中止)
- ・交野山・国見山：特になし
- ・柳生街道：特になし
- ・清掃登山 1コース：1名(一般参加者)足の攣りで少し遅れた。ロープウェイ乗車時1人不明。
2コース：休みがちな一般参加者が1名いた。ゆっくりと休憩を多くとることで最後まで歩けた。
- ・赤兎山：特になし。展望が良かった。

議題2 7月～11月の例会計画

開 催 日	山域・コース	テーマ・内容・	担当者	レベル	備 考	
7月	2日(日)	石樽峠 ～三池岳	鈴鹿縦走	H島	体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★★★	
	14日(金)	大比叡	大比叡 & 祇園祭	K原	体力 ★★★☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
	23日(日)	柳生 ～忍辱山円成寺	柳生街道 剣豪の道	I井	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
8月	4日(金) ～6日(日)	アルプス入門	立山～大日 岳～称名滝	I東	体力 ★★★★★ 技術 ★★☆☆☆	
9月	24日(日)	釈迦が岳 ～三池岳	鈴鹿縦走	H島	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
10月	22日(日)	未定	登山祭典 秋の野点	N村	体力 ☆☆☆☆☆ 技術 ☆☆☆☆☆	

	29日(日)	武平峠 ～根ノ平峠	鈴鹿縦走	H島	体力 ★★★★★☆ 技術 ★★★★★☆	
11月	3日(金・祝)	大橋方面 荒川峠方面	水質検査 放射線測定	K藤 N村	体力 ★★★★★☆ 技術 ★☆☆☆☆☆	
	12日(日)	ハイキングレス キュー講習会	滋賀県連		体力 ★☆☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆☆	
	23日(祝・木)	高取山	低山ハイク	K原	体力 ★★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆☆	

※上記以外に例会計画が企画された場合は、メールでご案内します。

議題3 トランシーバーの取り扱い

チャンネルの合わせ方等、トランシーバーの取り扱いを確認した。

次回のリーダー部会議は、8月9日（水）です。



2023年7月予定表

1	土		19	水	
2	日	例会山行 鈴鹿縦走(石樽峠 ~三池岳)	20	木	
3	月		21	金	
4	火		22	土	「ぶな」原稿締切
5	水		23	日	例会山行 柳生街道 柳生~忍辱山円成寺
6	木		24	月	
7	金		25	火	
8	土		26	水	
9	日		27	木	
10	月		28	金	
11	火	第5回運営委員会	29	土	
12	水		30	日	
13	木		31	月	
14	金	例会山行 大比叡・祇園祭	編集後記		
15	土				
16	日				
17	祝 月	海の日			
18	火				
8月の予定					
4~6	金~日	アルプス入門 立山~大日岳~称名滝			
今月号と来月号の当番					
今月号は					
来月号は					



ぶな 2023年7月号 No. 532

滋賀県勤労者山岳連盟
比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方
TEL&FAX 077-594-0454
E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp
HP <http://www.eonet.ne.jp/~geonet/hira/>